

(第6号様式)

平成26年度 第七回茅ヶ崎市地域公共交通会議

議題	1 開 会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 平成27年度茅ヶ崎市生活交通改善事業計画(案) (バリアフリー化設備等整備事業)について(資料1) 4 報告事項 (1) コミュニティバスについて(資料2)、(資料3)、(資料4) (2) 予約型乗合バスの運行について(資料5) 5 意見交換 6 その他 7 閉 会
日時	平成27年3月20日(金) 16時00分～17時15分
場所	茅ヶ崎市総合体育館2階 会議室
出席者	中村委員(会長)、村越委員、植松委員、三木委員((代理)平岩委員)、大澤委員、中澤委員、杉山委員((代理)千葉委員)、梅津委員、寶珠山委員((代理)今井委員)、大野木委員、秋元委員、夜光委員
欠席者	山崎委員、八島委員、田中委員
事務局	茅ヶ崎市都市部都市政策課：関野課長、山本課長補佐、山崎副主査、飯塚主事 (株)長大
会議資料	・ 議事次第 ・ 地域公共交通会議委員名簿 ・ 出席者名簿 ・ 席次表 資料1 茅ヶ崎市生活交通改善事業計画(案)(バリアフリー化設備等整備事業) 資料2 コミュニティバスのOD調査について 資料3 コミュニティバス無料キャンペーン結果について 資料4 平成27年4月1日コミュニティバス改善について 資料5 予約型乗合バスの運行について
会議の経過	別紙のとおり
備考	

第七回 茅ヶ崎市地域公共交通会議（3/20） 会議録要旨

（１）平成２７年度茅ヶ崎市生活交通改善事業計画（案）（バリアフリー化設備等整備事業について

- ・平成２７年度ノンステップバスを３台導入する事業内容と費用総額、負担割合、計画期間についての説明を行った。
- ・財政補助として市は実施計画上の３台要求していたが、市の財政上の判断から１台の予算しか確保できなかった。市の大変なことはわかるが、来年度以降少しでも多くいただけるようにしてほしい。
- ・来年度新たに第３次実施計画を策定するので、庁内で調整する予定であり、３台以上確保したい。
- ・計画については、合意形成が図られた。

（２）報告事項：コミュニティバスについて

- ・コミュニティバス４路線の平日と休日の乗降区間の調査結果、無料キャンペーン期間利用者アンケート結果について説明を行った。
- ・コミュニティバスのうち中海岸南湖循環線だけ値段が安いのは、できるだけ多くの方にとワンコインということで世の中の流行であった。路線が延び、コストもかかるということで、この後に２００円の路線が出てきた。他の路線と並べると説明がある。
- ・一部を除き他のコミュニティバス路線は茅ヶ崎駅に行くが、北部循環市立病院線は香川駅を経て市立病院止まりで不便である。バス乗継は不便で、茅ヶ崎駅経由か市役所経由が必要である。バス利用のアンケート調査をみても病院利用目的は１割しかいない。他路線と同様に茅ヶ崎駅に行けるコミュニティバスの見直しが小出の住民の大きなテーマとなっている。
- ・路線バスを幹線とすると、コミュニティバスは路線バスを補完するような形で支線と位置づけている。路線バスは駅まで行っているのでも乗り継いで行ってもらおう。乗合交通整備計画では路線バスとの住み分けを考えている。
- ・市として今後コミュニティバスをどのように位置づけるのか検討していただきたい。乗合交通整備計画をこのまま保持するのか、改善するのか。保持する場合は、なぜ見直さないか説明する必要がある。
- ・東部循環小和田松浪コースは、辻堂駅西口で乗る時間を少し長めに時間を取っていただきたいことと１時間に１本に見直してほしい。便数を増やさないと９：３０～１２：３０までバスがない。増便により、利用客が増加すると期待する。
- ・運行間隔は運行経費との兼ね合いで増便が難しいが、運行経路と合わせて検討しなければならない。
- ・辻堂駅西口の停車時間を取ることにについては、道路管理者、警察、バス停移動先横にあるビルオーナーに相談、調整しているので、内容が定まったらお知らせする。
- ・松浪コミュニティセンターが新規に開設される。茅ヶ崎から辻堂へ行くバス停留所は丁度よいが辻堂から茅ヶ崎へ行く停留所はコミュニティセンターから遠い。近くに移すように神奈川中央交通、江ノ電と調整してほしい。
- ・コミュニティセンターの新たな開館ということでバス停の位置は前後のバランス間隔も関係する。神奈川中央交通と調整して、近くに寄せられるバス停があったら、調整を進めたい。
- ・コミュニティバスが３０分間隔、７０分間隔、９０分間隔とその差が大きい。何分間隔がよいか理論的

に根拠はない。地域の生活パターンと他の乗り物と比べて最低限これくらいまではという意味が共有できたら、できるか判断する。このようなやり方ならできるなど議論が必要である。どう無理なのか見えないと説明がつかない。

(3) 報告事項：予約型乗合バスの運行について

- ・予約型乗合バスの利用状況、課題の対応策、課題に対する対応状況、今後の課題について説明を行った。
- ・予約型乗合バスは、利用してみると、便利であると定着してきた。インターネット予約は便利であるが、小出地区はネットになれていない人が多い。
- ・予約型乗合バスは、小出地区内という限定がある。もう少し範囲を超えて運行すると便利になる。小出地区はスーパーや病院がない。隣接地区に地元住民が行くスーパーや医院があり、そちらまでの乗入れが利用者増加につながる。
- ・スーパーマーケットマムは進めて調整する。小出の方の生活圏である湘南ライフタウンのバスロータリーに乗合所をと藤沢市と調整をしている。今、藤沢市の内部調整を待っている。その調整が済み次第進めていく。

(4) その他

- ・次回 8 回の会議は夏頃に予定をしている。詳細の日程が決まったら、委員の方々にお知らせする。

以上